

視野と高い見識を身につけ すぐれた総括者・指導者として活躍するよう期待したい。

土木学会においても従来の原子力土木技術委員会を発展的に改組し、昭和 45 年 7 月、原子力土木委員会を設け、とくに重要と思われる原子力立地関連の技術、耐震構造に関する技術、廃棄物の処理技術、原子力用コンクリートに関する技術に重点をおき、大学・研究所・関係官庁・電力企業などと連携をはかって、研究活動を開始した。すでに、委員各位の努力によって、逐次、その成果を収めているが、今後、原子力関係の他学会・協会グループなどとも、よりいっそう積極的な交流をはかり、

土木界全般における原子力問題に関する意識の高揚につとめ、エネルギー問題解決に関して、土木技術者に課せられている期待に応えるべく、いっそうの努力を行なわねばならない。学会員各位、とくに今後の世代をになつて立つ若い技術者諸君は、これらに思いをさせ、研さんされんことを望んでやまない。

終わりに望み、原子力土木委員会委員長として、委員各位ならびに実際の活動の指導にあたっている各部会長はじめ部会委員各位、ならびに今回の特集を企画された会誌編集委員会関係者各位に謝意を表し、特集の巻頭言とする。

原子力関係の図書案内——資料10

- ：日本の原子力産業
- 1) 原子力委員会編：原子力白書，昭和 46 年版，大蔵省印刷局
 - 2) 日本原子力産業会議編：日本の原子力——原子力開発 15 年のあゆみ——，全 3 冊・別冊原子力年表
 - 3) 日本原子力産業会議編：原子力年鑑，昭和 46 年版，日本原子力産業会議
 - 4) 日本日本原子力産業会議編・科学技術庁監修：原子力ポケットブック，昭和 46 年版，日本原子力産業会議
 - 5) 原子力用語研究会編：図解原子力用語辞典，日刊工業新聞社
 - 6) 電気事業講座編集委員会編：原子力発電，電力新報社
 - 7) 豊田正敏ほか：原子力発電技術読本，オーム社
 - 8) 村主進ほか編：原子力発電入門，日刊工業新聞社
 - 9) 吹田徳雄ほか監修：100 万人の原子力，基礎編・応用編，アグネ社
 - 10) 末田守・今井隆吉：あすの原子力，日刊工業新聞社
 - 11) 通産省大臣官房総合エネルギー政策課原子力産業政策室編
 - 12) 長銀産業研究会編：原子力産業，東洋経済新報社
 - 13) 山県登：核アレルギー——作られた偏見——，野田経済社
 - 14) 山県登：放射能，講談社
 - 15) 崎川範行：エネルギーのはなし——石油か原子力か——，日科技連出版社
 - 16) 今井隆吉：核燃料時代，東洋経済新聞社
 - 17) 熊谷寛夫：原子力，筑摩書房
 - 18) 小久保定次郎：原子炉用材料，内田老鶴園新社
 - 19) 武安義光：原子力，日本経済新聞社
 - 20) 日本放射性同位元素協会編：新版アイソトープ便覧，丸善
 - 21) 堀口定義：原子力産業，ダイヤモンド社
 - 22) 村上隆：原子力と政治，三省堂
 - 23) 向坂正男編：核エネルギー問題の将来，朝日新聞社
 - 24) 向坊隆編：原子力と安全性，朝日新聞社
 - 25) 朝日新聞社編：原子力ハンドブック，朝日新聞社
 - 26) F. ゲイナー著・村上悠紀雄訳：原子力ポケット百科，法政大学出版局
 - 27) ウェント著・松井佐七郎訳：みんなの原子力，法政大学出版局
 - 28) R.L. マレー著・遠藤雄三訳：原子力工学入門，コロナ社
 - 29) ホイジングトン著・柴田悌二郎訳：解説原子核工学，近代科学社

● 特集扉（本文 2 ページ）写真説明・世界の原子力発電所——写真提供・日本原子力文化振興財団

▼ 写真位置図

1	2	3
4	5	6
7	8	9
10	11	12

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 1 コネチカット ヤンキー (アメリカ) | 7 トラウス フィニド (イギリス) |
| 2 サ イ ズ ウ ェ ル (イギリス) | 8 イ ン デ ア ン ポ イ ン ト (アメリカ) |
| 3 ダ グ ラ ス ポ イ ン ト (カナダ) | 9 ド ー シ ン レ イ (イギリス) |
| 4 シ ノ ン (フランス) | 10 ブ ラ ッ ド ウ ェ ル (イギリス) |
| 5 ダ ン ジ ネ ス A (イギリス) | 11 サ ン オ ノ フ レ (アメリカ) |
| 6 ジ ョ セ カ プ レ ラ (スペイン) | 12 ヒ ン ク レ ー ポ イ ン ト (アメリカ) |